

**病床機能報告 定量基準分析結果（県央）
（平成29年度,平成28年度）**

埼玉県保健医療部保健医療政策課

平成29年度病床機能報告 定量基準分析結果【県央圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	埼玉県計				県央圏域				備考
			該当病棟数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	該当病棟数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	87病棟	548人/日	835床	65.7%	7病棟	43人/日	80床	53.4%	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分 放射線治療の実施がある病棟を急性期・回復期に区分 医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		一般病棟・地域包括ケア病床等	67病棟	1,858人/日	2,508床	74.1%	4病棟	111人/日	152床	72.8%	
	回復期リハビリ病棟	高度急性期	343病棟	11,780人/日	14,764床	79.8%	29病棟	933人/日	1,154床	80.8%	
		回復期	262病棟	6,604人/日	9,746床	67.8%	20病棟	446人/日	698床	63.9%	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	回復期	74病棟	3,103人/日	3,448床	90.0%	5病棟	180人/日	207床	86.9%	
		慢性期	59病棟	2,457人/日	2,839床	86.5%	2病棟	65人/日	82床	79.1%	
	医療療養病棟	慢性期	172病棟	6,921人/日	8,067床	85.8%	16病棟	640人/日	715床	89.5%	
		急性期	9病棟	370人/日	464床	79.8%	0病棟	0人/日	0床		
	介護療養病棟	慢性期	20病棟	207人/日	342床	60.6%	0病棟	0人/日	0床		
		急性期	93病棟	1,488人/日	2,260床	65.8%	7病棟	99人/日	126床	78.3%	
周産期	産科の一般病床	高度急性期	11病棟	183人/日	336床	54.5%	0病棟	0人/日	0床	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分	
		急性期	16病棟	308人/日	533床	57.9%	1病棟	11人/日	14床		79.0%
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	回復期	2病棟	26人/日	47床	54.4%	0病棟	0人/日	0床	放射線治療の実施がある病棟を急性期・回復期に区分	
		急性期	5病棟	76人/日	114床	67.0%	2病棟	44人/日	57床		77.1%
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	7病棟	82人/日	131床	62.7%	1病棟	12人/日	15床	78.8%	放射線治療の実施がある病棟を急性期・回復期に区分
		慢性期									

4機能区分	埼玉県計				県央圏域				各医療機関が報告した病床数 (H29病床機能報告)	2025年の必要病床数 (地域医療構想)
	該当病棟数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	該当病棟数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率		
高度急性期	185病棟	2,797人/日	4,021床	69.6%	11病棟	153人/日	232床	66.1%	415床	344床
急性期	457病棟	13,652人/日	17,671床	77.3%	39病棟	1,087人/日	1,351床	80.4%	1,793床	1,273床
回復期	338病棟	9,733人/日	13,241床	73.5%	25病棟	625人/日	905床	69.1%	245床	1,120床
慢性期	247病棟	9,830人/日	11,501床	85.5%	19病棟	716人/日	812床	88.2%	846床	797床
入院料に関する報告がなく分類できない病棟の病床	35病棟	102人/日	512床	20.0%	1病棟	0人/日	6床			
休棟・病床機能報告に無回答の病床	—	—	—	—	—	—	—	—	131床	—
合計等	1,262病棟	36,114人/日	46,946床	76.9%	95病棟	2,582人/日	3,306床	78.1%	3,430床	3,534床

注：「合計等」欄の許可病床数の他に、病床機能報告に未報告部分がある・病床機能報告の様式1と様式2とが突合しない等の事由から、分析対象に含まれない病床がある。

(参考) 未分析病床分 (各医療機関が報告した病床機能)

	埼玉県	県央
高度急性期	23床	0床
急性期	1,007床	56床
回復期	138床	0床
慢性期	1,251床	0床
休棟・未報告等	1,317床	68床
計	3,736床	124床

大区分	入院料・診療科	4機能区分	埼玉県計			県央圏域			備考
			該当病床数	基準該当病床数	病床稼働率	該当病床数	基準該当病床数	病床稼働率	
成人の医療等	救命救急・ICU等 一般病床・ 地域包括ケア病床等	高度急性期	80病床	733床	61.9%	6病床	64床	54.3%	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
		高度急性期	71病床	2,852床	79.1%	6病床	250床	85.2%	
	急性期	292病床	12,713床	78.1%	23病床	957床	80.9%		
	回復期	257病床	9,968床	65.3%	20病床	679床	67.6%		
	回復期	60病床	2,737床	86.5%	5病床	207床	86.1%		
	慢性期	44病床	2,027床	89.5%	2病床	82床	74.6%		
周産期	特殊疾患病床・障害者施設等 医療療養病床 介護療養病床	慢性期	147病床	6,837床	88.9%	14病床	627床	91.1%	
		慢性期	12病床	587床	87.2%	0病床	0床		
	高度急性期	26病床	581床	96.2%	1病床	11床	231.3%		
	急性期	61病床	1,550床	67.9%	5病床	76床	99.4%		
小児	産科の一般病床 小児入院管理料・ 小児科の一般病床等	高度急性期	3病床	116床	79.4%	0病床	0床	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分 放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする	
		急性期	19病床	723床	46.7%	2病床	64床		69.0%
		回復期	3病床	87床	70.5%	0病床	0床		
		急性期	4病床	97床	63.6%	2病床	57床		57.3%
緩和ケア	緩和ケア病床	慢性期	6病床	99床	65.3%	1病床	15床	82.6%	

4機能ごとに集計

埼玉県計					県央圏域					
4機能区分	該当病床数	基準該当病床数	病床稼働率	該当病床数	基準該当病床数	病床稼働率	各医療機関が報告した病床数 (H28病床機能報告)	2025年の必要病床数 (地域医療構想)		
									2025年の必要病床数 (地域医療構想)	必要病床数
高度急性期 計	180病床	4,282床	78.5%	13病床	325床	84.0%	588床	344床		
急性期 計	376病床	15,083床	75.5%	32病床	1,154床	80.3%	1,570床	1,273床		
回復期 計	320病床	12,792床	69.9%	25病床	886床	71.9%	207床	1,120床		
慢性期 計	209病床	9,550床	88.7%	17病床	724床	89.1%	923床	797床		
入院料に関する報告が分類できない病床の病床 休棟・病床機能報告に無回答の病床	27病床	318床	14.4%	1病床	42床	0.0%	—	—		
合計等	1,112病床	42,025床	76.6%	88病床	3,131床	79.2%	3,420床	3,534床		

注：「合計等」欄の許可病床数（埼玉県計=42025床、県央圏域=3131床）の他に、病床機能報告に未報告部分がある・病床機能報告の様式1と様式2とが突合しない等の事由から、分析対象に含まれない病床がある（埼玉県計=8347床、県央圏域=289床）。

（参考）各医療機関の報告上の機能

（高度急性期：0床 急性期：132床 回復期：0床 慢性期：67床 慢性期：38床 休棟：38床 未報告：52床）

平成29年度病床機能報告 定量基準分析結果 【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	87病床	548人/日	835床	65.7%	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病床・地域包括ケア病床等	高度急性期	67病床	1,858人/日	2,508床	74.1%	
		急性期	343病床	11,780人/日	14,764床	79.8%	
		回復期	262病床	6,604人/日	9,746床	67.8%	
		回復期リハビリ病床	74病床	3,103人/日	3,448床	90.0%	
		特殊疾患病床・障害者施設等	慢性期	59病床	2,457人/日	2,839床	
周産期	医療療養病床	慢性期	172病床	6,921人/日	8,067床	85.8%	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	介護療養病床	慢性期	9病床	370人/日	464床	79.8%	
	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	20病床	207人/日	342床	60.6%	
	産科の一般病床	急性期	93病床	1,488人/日	2,260床	65.8%	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	11病床	183人/日	336床	54.5%	放射線治療の実施がある病床を急性期・急性期・回復期とする
		急性期	16病床	308人/日	533床	57.9%	
		回復期	2病床	26人/日	47床	54.4%	
緩和ケア	緩和ケア病床	急性期	5病床	76人/日	114床	67.0%	
		慢性期	7病床	82人/日	131床	62.7%	

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	各医療機関が	
					報告した病床数 (H29病床機能報告)	2025年の必要病床数 (地域医療構想)
高度急性期 計	185病床	2,797人/日	4,021床	69.6%	6,365床	5,528床
急性期 計	457病床	13,652人/日	17,671床	77.3%	24,702床	17,954床
回復期 計	338病床	9,733人/日	13,241床	73.5%	4,830床	16,717床
慢性期 計	247病床	9,830人/日	11,501床	85.5%	13,013床	14,011床
入院料に関する報告がなく分類できない病床の病床	35病床	102人/日	512床	20.0%	—	—
休棟・病床機能報告に無回答の病床	—	—	—	—	1,772床	—
合計等	1,262病床	36,114人/日	46,946床	76.9%	50,682床	54,210床

注：病床機能報告に未報告部分がある・病床機能報告の様式1と様式2が突合しない等の事由から、分析対象に含まれない病床が3,736床ある。

(参考) 未分析病床分 (各医療機関が報告した病床機能)

	埼玉県
高度急性期	23床
急性期	1,007床
回復期	138床
慢性期	1,251床
休棟・未報告等	1,317床
計	3,736床

(参考) 平成28年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	80病床	454人/日	733床	61.9%	
	一般病床・ 地域包括ケア病床等	高度急性期	71病床	2,257人/日	2,852床	79.1%	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	292病床	9,935人/日	12,713床	78.1%	
		回復期	257病床	6,511人/日	9,968床	65.3%	
	回復期リハビリ病床	回復期	60病床	2,367人/日	2,737床	86.5%	
	特殊疾患病床・障害者施設等	医療療養病床	慢性期	44病床	1,814人/日	2,027床	89.5%
慢性期			147病床	6,081人/日	6,837床	88.9%	
周産期	介護療養病床	慢性期	12病床	512人/日	587床	87.2%	
		高度急性期	26病床	559人/日	581床	96.2%	
		急性期	61病床	1,052人/日	1,550床	67.9%	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病床等	高度急性期	3病床	92人/日	116床	79.4%	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類の応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	19病床	337人/日	723床	46.7%	
		回復期	3病床	61人/日	87床	70.5%	
		急性期	4病床	62人/日	97床	63.6%	
緩和ケア	緩和ケア病床	慢性期	6病床	65人/日	99床	65.3%	放射線治療の実施がある病床を急性期、ない病床を慢性期とする

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	基準該当病床数	病床稼働率	平成28年度病床機能報告において各医療機関が報告した病床数	地域医療構想における2025年の必要病床数
高度急性期 計	180病床	3,362人/日	4,282床	78.5%	6,707床	5,528床
急性期 計	376病床	11,386人/日	15,083床	75.5%	24,118床	17,954床
回復期 計	320病床	8,939人/日	12,792床	69.9%	4,437床	16,717床
慢性期 計	209病床	8,472人/日	9,550床	88.7%	12,965床	14,011床
入院料に関する報告がなかつた病床の病床 休棟・病床機能報告に無回答の病床	27病床	46人/日	318床	14.4%	—	—
合計等	1,112病床	32,205人/日	42,025床	76.6%	50,372床	54,210床

注：表の42,025床の他に、病床機能報告に未報告部分がある。病床機能報告の様式1と様式2とが突合しない等の事由から、分析対象に含まれない病床が8,347床ある。

(参考) 未分析病床分 (各医療機関が報告した病床機能)

埼玉県	病床数
高度急性期	115床
急性期	2,497床
回復期	775床
慢性期	2,692床
休棟・未報告等	2,268床
計	8,347床

埼玉県病床機能報告定量基準分析の枠組み

- 「ICU→高度急性期」「回復期」リハビリ棟→回復期」「療養病棟→慢性期」など、**どの医療機能と見なすが明らかに入料の病棟は、当該医療機能として扱う。**
- 特定の医療機能と結びついていない**一般病棟・有床診療所の一般病床・地域包括ケア病棟**（**周産期・小児以外**）を対象に、具体的な機能の内容に応じて客観的に設定した**区分線**
 - 1.区分線2**によって、高度急性期/急性期/回復期を区分する。
- 特殊性の強い周産期・小児・緩和ケアは切り分けて考える。

4機能	主に成人			大区分		
	救命救急 ICU SCU HCU	一般病棟 有床診療所の一般病床 地域包括ケア病棟	区分線1	周産期 MFICU NICU GCU	小児 PICU 小児入院医療管理料1	緩和ケア
高度急性期				産科の一般病棟 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の一般病棟7:1	緩和ケア病棟 (放射線治療あり)
急性期					小児入院医療管理料4,5 小児科の一般病棟7:1以外 小児科の有床診療所	
回復期	回復期 リハビリ病棟					
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等					緩和ケア病棟 (放射線治療なし)

切り分け

具体的な機能に応じて区分線を引く

機能区分基準の考え方

- ① 病床機能報告のうち、主に「具体的な医療の内容に関する項目」のデータの中から、外科的治療・内科的治療・全身管理等の幅広い診療内容を加味して基準を構成。
- ② 区分線1のしきい値は、救命救急入院料やICUの大半が、高度急性期に区分される程度とする。
- ③ 区分線2のしきい値は、一般病棟7：1の大半が、高度急性期・急性期に区分される程度とする。
- ④ 区分線1・2を設定した結果、高度急性期・急性期・回復期の1日あたり入院患者数が、「埼玉県地域医療構想における現在（2013年）の需要推計」との間に大きな齟齬がないか確認する。

ただし、実際には各病棟にはさまざまな病期の患者が混在する中で、病棟単位での集計結果に応じて区分するため、ある病棟が、わずかな機能の差によって、「急性期の病棟」に区分されたり「回復期の病棟」に区分されたりし、それに応じて「急性期の病床数」も大きく変わる。

区分線には「絶対の閾値」があるわけではなく、ある程度の幅をもたせて考えることが必要。

高度急性期・急性期の区分（区分線1）の指標

○救命救急やICU等において、特に多く提供されている医療

- A : 【手術】全身麻酔下手術
- B : 【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- C : 【がん】悪性腫瘍手術
- D : 【脳卒中】超急性期脳卒中加算
- E : 【脳卒中】脳血管内手術
- F : 【心血管疾患】経皮的冠動脈形成術
- G : 【救急】救急搬送診療料
- H : 【救急】救急医療に係る諸項目（☆）
- I : 【救急】重症患者への対応に係る諸項目（☆）
- J : 【全身管理】全身管理への対応に係る諸項目（☆）

☆…病床機能報告のデータ項目のうち、救命救急やICU等で算定が集中しているものに限定。

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線1で高度急性期に分類される病棟の割合（平成29年度報告）

	区分線1で高度急性期に分類する要件	しきい値		該当する病棟の割合（選択都道府県）				
		稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	救命・ICU・SCU	一般病棟7:1(※)	一般病棟7:1以外(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	A 全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	42.5%	1.9%	0.5%	2.2%	0.0%
	B 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	21.8%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	C 悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	25.3%	2.7%	0.5%	0.0%	0.0%
脳卒中	D 超急性期脳卒中加算	あり	あり	16.1%	0.8%	0.0%	0.0%	算定不可
	E 脳血管内手術	あり	あり	21.8%	1.4%	0.5%	0.0%	0.0%
心血管疾患	F 経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	25.3%	1.6%	1.0%	0.0%	0.0%
	G 救急搬送診療料	あり	あり	11.5%	0.8%	0.0%	0.0%	算定不可
救急	H 救急医療に係る諸項目（下記の合計） ・救命のための気管内挿管 ・体表面・食道ベレーシング法 ・非開胸的心マッサージ ・食道圧迫止血チューブ挿入法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	64.4%	3.0%	1.0%	5.4%	0.0%
	I 重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的肺動脈圧測定 ・持続緩徐式血液濾過 ・大動脈バルーンポンピング法 ・経皮的心肺補助法 ・人工心臓	0.2回/月・床以上	8回/月以上	48.3%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	J 全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的動脈圧測定(1時間超) ・胸腔穿刺 ・ドレーン法 ・人工呼吸(5時間超)	8.0回/月・床以上	320回/月以上	43.7%	1.4%	0.5%	0.0%	0.0%
上記A～Jのうち1つ以上を満たす				89.7%	14.2%	4.2%	7.6%	0.0%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

92.5%	16.8%	4.0%	6.4%	0.0%
-------	-------	------	------	------

(参考) 平成28年度該当病床割合

急性期・回復期の区分（区分線2）の指標

○一般病棟7：1において多く提供されている医療

- K：【手術】手術
- L：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- M：【がん】放射線治療
- N：【がん】化学療法
- O：【救急】救急搬送による予定外の入院

○一般病棟や地域包括ケア病棟で共通して用いられている指標

- P：【重症度、医療・看護必要度】
基準（「A得点2点以上かつB得点3点以上」「A得点3点以上」「C得点1点以上」）を満たす患者割合

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数等を指標に用い、しきい値を設定。

区分線2で急性期に分類される病棟の割合（平成29年度報告）

	区分線2で急性期に分類する要件	しきい値		該当する病棟の割合（選択都道府県）				
		稼働病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	一般病棟 7:1 (※)	一般病棟 10:1 (※)	その他 一般病棟 (※)	有床診の 一般病床 (※)	地域包括 ケア病棟
手術	K 手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	8.5%	5.7%	2.9%	19.6%	0.0%
	L 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.1回/月・床以上	4回/月以上	18.0%	12.3%	1.4%	1.1%	0.0%
がん	M 放射線治療 (レセプト枚数)	0.1枚/月・床以上	4枚/月以上	9.3%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	N 化学療法 (日数)	1.0日/月・床以上	40日/月以上	18.3%	2.5%	1.4%	2.2%	0.0%
救急 重症度等	O 予定外の救急医療入院の人数	10人/年・床以上	33.3人/月以上	17.8%	12.3%	4.3%	0.0%	0.0%
	P 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	25%以上	25%以上	65.3%	42.6%	0.0%	0.0%	4.5%
		上記K～Pのうち1つ以上を満たす		83.3%	58.2%	11.4%	27.2%	4.5%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科・小児外科であるものを除く。

76.4%	49.1%	16.4%	25.6%	7.7%
-------	-------	-------	-------	------

(参考) 平成28年度該当病床割合

